

学記・ニイハオ!!

中国廈門市のその4

第15期 宜野湾市海外留学生

佐和田 大祐

【ご挨拶】

大家好（こんにちは）
昨年9月より始まった廈門留学も早いもので卒業の日を迎える事となりました。

レポート最終回となる今回は、中国で感じた「カルチャーショック」、1年間の廈門留学を通しての思い出と感謝の言葉をお伝えします。

【カルチャーショック】

中国での生活を通して最も驚いたことは、「オンライン決済サービス」の普及率です。支付宝（Alipay）や微信支付（WeChatPay）が代表されるこれらは、スーパーでの買い物はもちろん、電気・ガス・水道等のインフラ、映画や航空券の支払い、はたまた個人の送金に到るまで、決済できないものはないというほど中国で普及しており、現金を持たないという中国人も珍しくありません。

【廈門留学を通して】

廈門留学を通して多くの「友達」に恵まれました。全く言葉の通じない異国で1年間を過ごす事ができたのは、彼等の存在があったからに他なりません。中国人学生や留学生のクラスメイト、学校外においても多くの方と交流することができました。初めて飛び出した海外で異なる価値観や考え方に戸惑う場面もありましたが、それ以上

に人間の温かさを感じた1年間となりました。

【最後に】

期待と不安を胸に廈門に降り立った日がつい最近の事だったと思える程に、この1年間はあっという間に過ぎていきました。廈門留学を経て得た経験とそこで出会えた人々は私にとって一生の財産となりました。

最後に、「宜野湾市海外留学生派遣事業」にて、廈門留学の機会を与えて頂きました宜野湾市の皆さま、そしてサポートしてくださった宜野湾市役所の皆さまに感謝します。本当にありがとうございました。非常感謝你们。



上 上海旅行にて
右上 日本語交流会メンバー
右 茶道クラブメンバー



Topics

廈門留学生、留学後の活躍の場!!

～留学生の“今”をお伝えします～



第16期留学生 中国廈門へ出発!



8月18日(金)、友好都市である中国廈門市の市立廈門理工学院へ9月から約1年間派遣される桃原優奈さんおよび今年度帰沖した第15期留学生の佐和田大祐さんが佐喜眞市長を表敬訪問しました。

桃原さんは「インバウンドに携わる仕事に就きたいので、中国語を学び仕事に活かせるよう頑張りたい」と留学への意気込みを、佐和田さんは「留学経験を宜野湾市の為に活かしていきたい」と今後の抱負について語りました。

留学経験を活かした職業へ 第14期 西原 真紀子

留学の経験と身につけた語学力を活かして、市商工会「宜野湾インバウンドモデルプロジェクト連携体事業」へ参加しています。市内の事業者が外国人観光客を理解しスムーズに受入れが出来る体制・整備を作り、海外の観光客の方々に快適な場を提供出来る事を目的とした事業です。

市の魅力が詰まった、リーフレットや、公式ウェブサイト「Fine Dayz Ginowan」などで

市の情報を発信し、外国人観光客の方達へ情報が届く様にしています。この事業に携わる事で、宜野湾市の魅力を再発見する事、歴史、文化を学ぶことができました。

とてもやりがいのある、自分自身が成長できる仕事です。



地域の通訳ボランティア活動 第15期 佐和田 大祐

8月11日(金)～13日(日)に市青年会議所が行った、台湾員林市(いんりんし)の児童生徒ら計21名を対象とした平和学習に通訳ボランティアとして参加しました。

平和学習では、員林市の子ども達に沖縄の歴史や現状を学んでもらい平和の大切さを感じてもらい、さらに沖縄の子ども達やホームステイを受け入れる家族との異文化交流をし、言葉の大切さや世界に興味を持

ち、員林・宜野湾の子ども達が、将来は世界を股に掛けるグローバルネットワーカーになるきっかけ作りを目的としています。留学で学んだ事が少しでも子ども達の役に立てて良かったです。今後は、留学で培った語学力を活かした仕事に就きたいと考えています。

